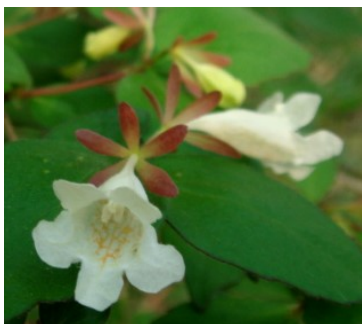
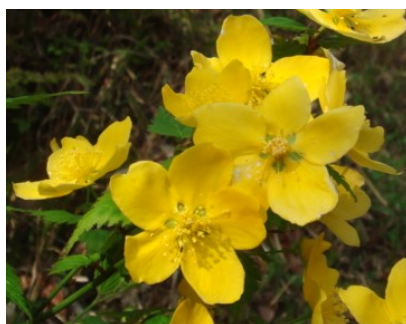


ニ上山だより

今、ニ上山で咲いている花々



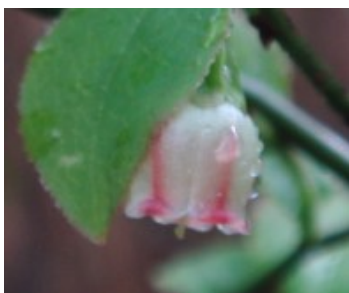
ツクバネウツギ (スイカズラ科)



ヤマブキ (バラ科)



ウスノキ (ツツジ科)



ウスノキ



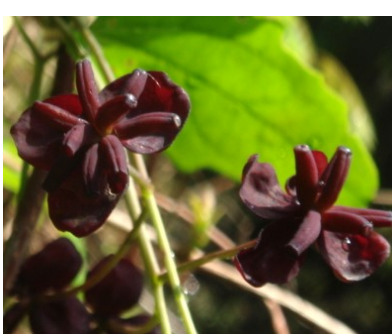
ヒメハギ (ヒメハギ科)



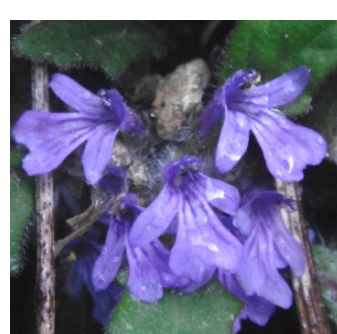
センボンヤリ (キク科)



モチツツジ (ツツジ科)



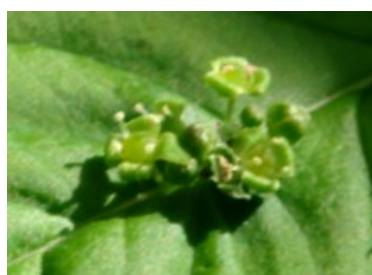
ミツバアケビ (アケビ科)



キラソウ (シソ科)



コバノガズミ (スイカズラ科)



ハナイカダ (ミズキ科)



ウラシマソウ (サトイモ科)

大和葛城山 カタクリが花盛り



葛城山の代表的登山コースだった不動滝を通る道が地すべりのため通行止めとなり、代わりに「北尾根コース」が整備され、利用されている。

昔の不動寺～自然研究路コースの大部分を復活・整備したもので、階段の多い急坂だが、展望のよい箇所がいくつもあり、しかも自然研究路につながるのので、楽しい登山路となっている。

今自然研究路ではカタクリが満開、他にミヤマシキミ、ニリンソウ、ヤマルリソウ、ミヤコアオイ、アケビ、ツルキンバイ、イカリソウなどが咲いていて、それらを楽しみつつ歩くことができる。勿論ロープウェイで行っても花を楽しめる。

吉川さんは最近、別ルートで下山して、ホタルカズラに出会ったと言う。

右の写真のイカリソウは、ソハヤキ(襲速紀)イカリソウと呼ばれ、紀伊半島、四国、九州の一部に自生する種。「襲」は熊襲で九州南部を指し、「速」は速吸瀬戸(はやすいせと=豊予海峡)のことで、「紀」は紀伊の紀で近畿南部を指す。

「ソハヤキとは襲速紀系の植物のことで(中略)瀬戸内海出現以前に分布していた植物であるという意味でその名がつけられたもの」「奈良県の植物」と言う。

ソハヤキ系植物の代表的なものは、このイカリソウの他コウヤマキ、キレンゲショウマ、ハガクレツリフネなどがある。



ソハヤキイカリソウ (メギ科)

クリーンハイク(清掃登山)のお知らせ

とき 6月6日(日)

目的地 高取山

集合 朝8時半 近鉄壺阪山駅前

以上 116号



ホタルカズラ



ツルキンバイ